

上大岡駅 周辺

上大岡は、江戸時代には久良岐郡大岡郷と称された農村であった。昭和5年、現在の京浜急行が開通し、周辺には田園地帯が広がり、地元を流れる大岡川の清流を利用した捺染業(生地などに柄の染色)が地場産業として定着した。

昭和5年 - 湘南電気鉄道開通(現 京浜急行)

昭和28年 - 駅前に鎌倉街道(新道)開通

昭和44~45年- 笹下、野庭、港南台に巨大団地

昭和47年 - 市営地下鉄が開通

駅を中心とした周辺の丘陵地帯の開発が急激に進み、人口は大幅に増加、現在は商工業を中心とした都市型の街に変容しました。

横浜市内3位のターミナル拠点に



明治36年頃の上大岡駅前



昭和36年正月の駅舎と商店街



昭和45年 駅前から関の下方面を望む



現在(平成21年)

